

◆大阪科学賞 京大2教授
優れた業績を上げた50歳以下の研究者をたたえる大阪科学賞（大阪府、大阪市、大阪科学技術センター主催）の第33回受賞者に14日、竹内繁樹・京都大教授（47）と神谷之康・同教授（45）の2人が選ばれた。竹内教授は、光の粒子（光子）を情報処理に応用する研究で成果を上げた。神谷教授は、睡眠中の脳の信号を読み解く手法を開発、夢の内容を解読することにも成功した。

読売新聞2015年9月15日付37面